

浜の活力再生プラン
令和 7～11 年度
第 3 期

1 地域水産業再生委員会

組織名	忠岡地区地域水産業再生委員会
代表者名	会長 藤田 英次 (忠岡漁業協同組合 理事副組合長)
再生委員会の構成員	忠岡漁業協同組合、忠岡町産業住民部産業建築課
オブザーバー	大阪府、大阪府漁業協同組合連合会
対象となる地域の範囲及び漁業の種類	阪南港忠岡地区 瀬戸内海機船船びき網漁業 17名 刺網漁業等を含む漁業者 7名 (令和6年3月時点)

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

<p>忠岡地区の漁業は船びき網漁業を中心にしらす、いかなごなど数十種類の魚種を漁獲しているが、近年いかなごに関しては環境の変化により、親漁の個体数が減少した影響で年々漁獲高は減少し、令和5年には約40tあった漁獲量が、令和6年は約20tに減少し、ほぼ獲れていない状況にある。</p> <p>忠岡漁業協同組合としては、第5日曜日に忠岡みなとマーケットを開催しているほか、近隣イベントへの出店など、忠岡町とも連携しながら地域に根付いた活動をしている。集客及び周知方法に関しては、忠岡町役場ホームページへの掲載や、大阪府のイベント情報ホームページへの掲載などを行い、周知に努め、問合せ等も増えてきているところである。</p> <p>施設の老朽化も深刻な問題となっており、漁具倉庫の改修を行う必要がある。</p> <p>令和6年度より牡蠣養殖を開始したため、忠岡みなとマーケットのように日程を決めて定期的に飲食出来るようにしたい。</p>

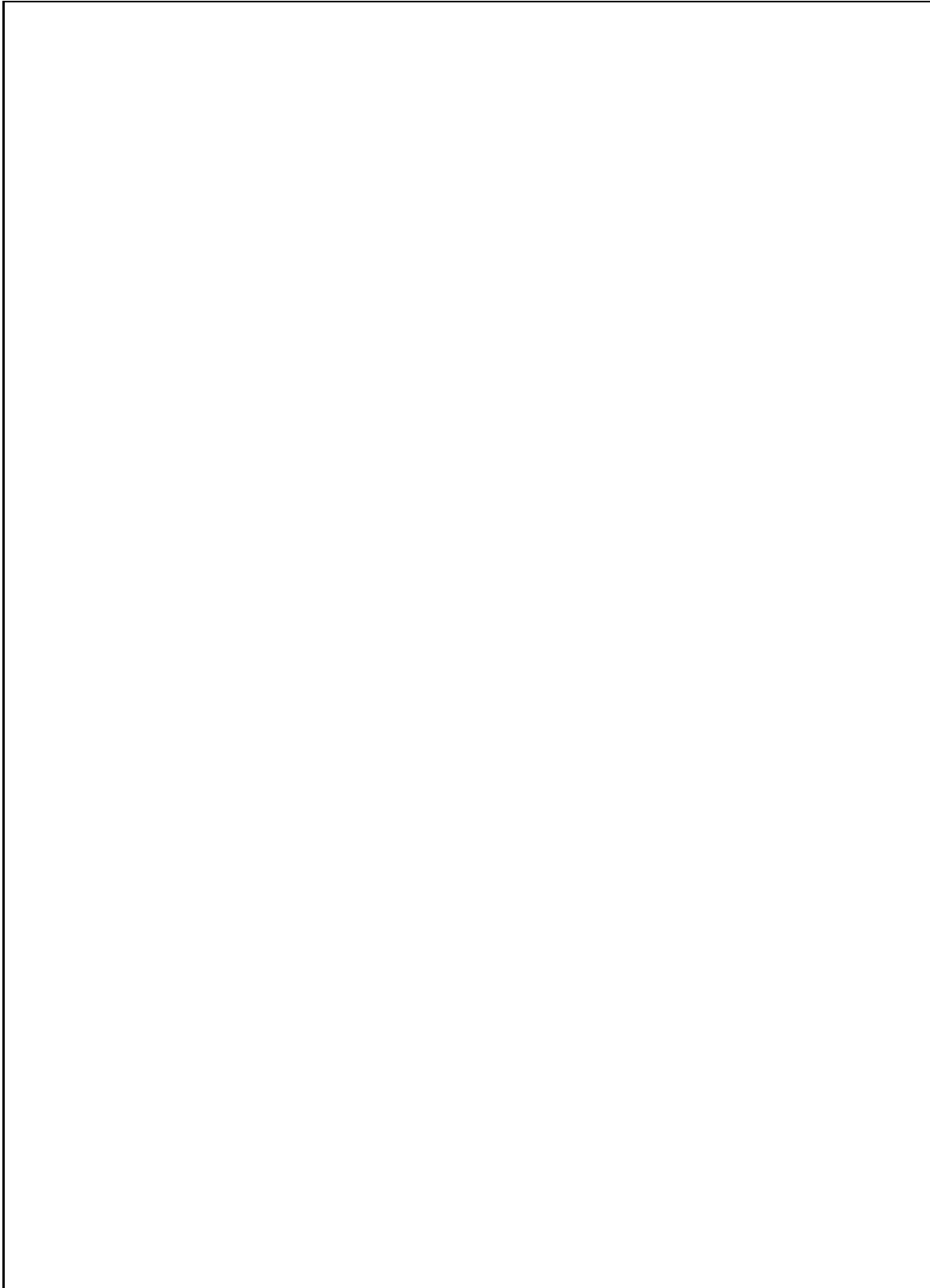
(2) その他の関連する現状等

<ul style="list-style-type: none"> ・漁業者の高齢化に伴い水産業の活気が失われている事を自覚しなければならない。 ・地震のみならず台風やそれに伴う高潮などに対する災害対策として、避難路や防潮堤の整備が必要であることから、大阪府や忠岡町と相談し対応していく。現在、防潮堤の工事が進んでいるが、もう少し日程を早めてもらえるよう働きかける。 ・日本一小さい町にある小さな漁港であり、関西国際空港からも30分、大阪市内へも30分と利便性もよく通勤・通学にも便利である。若い世代も増えつつあり、町全体に活気が戻ってきている。

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

--



(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

1. 漁業収入向上のための取組

(1) 魚価向上や高付加価値化

船曳・刺網漁業の漁獲物（しらす、アコ等）について、海水浄化槽装置を活用しながら、高鮮度保持に取り組むことにより、魚価単価向上を図る。

(2) 牡蠣養殖の推進

令和6年度より取り組んでいる牡蠣養殖について、今期浜プランでは牡蠣の鮮度保持のため海水浄化槽装置を活用した高鮮度保持の取組を実施し、価格向上を図るとともに、生産量の増加に取り組む。牡蠣は忠岡みなとマーケットや牡蠣小屋で販売するとともに、ふるさと納税への登録も視野に入れ忠岡町と連携しながら、販路拡大を図る。

(3) 資源管理による生産量の拡大

- ①大阪府漁業協同組合連合会が実施する海底耕耘に積極的に参加し、漁場の環境改善及び回復を図る。
- ②栽培漁業センターの協力を得て、積極的に放流事業に取り組む。

2. 漁業コスト削減のための取組

(1) 省エネ機器等の導入と継続活用

前期浜プランに引き続き、補助事業等を活用して省エネ機器を導入し、経費削減を図る。

(2) 省燃油活動の推進及び漁具購入費用の削減

前期浜プランに引き続き、漁業経営セーフティーネット構築事業への加入促進や漁具の点検・補修を徹底し、燃油代や漁具の購入費削減に繋げる。

(3) 漁具倉庫の改修及び増設

漁具倉庫について、老朽化が進んでいることから改修を図るとともに、漁業者の作業効率向上のため、施設の増設を行う。

3. 漁村活性化のための取組

(1) 漁業者の育成及び後継者の育成

地元や周辺の小中学校の職業体験等を受け入れるとともに、効率的な漁業経営や資源管理が行えるよう、様々な研修に漁業者が参加できる体制を構築し、新規就業者の確保や後継者の育成を行う。

(2) 交流人口の拡大

漁協の直売所である忠岡みなとマーケットについて、忠岡町とも連携しながら毎月第5日曜日に開催し、しらす・牡蠣をはじめとした主要魚種を販売し所得向上に繋げるとともに、出店店舗の増加を図り、忠岡みなとマーケットの活性化に繋げる。また、期間限定（冬季）で牡蠣小屋を営業し、漁村への集客向上を図る。

(3) 資源管理に係る取組

船びき網漁業に関しては、大阪府資源管理船びき委員会で決められた資源管理措置（漁獲物の体長制限、操業時間及び期間の制限、休漁日等）を遵守する。

その他、刺網漁業等に関しては大阪府漁業協同組合連合会各資源管理部会にて決定された資源管理措置（漁獲物の体長制限、操業時間及び期間の制限、休漁日等）を遵守する。

(4) 具体的な取組内容

1年目（令和7年度） 所得向上率（基準年比）2.88%

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>(1) 魚価向上や高付加価値化 漁業者は、船曳・刺網漁業の漁獲物（しらす、アコ等）について、海水浄化槽装置を活用して高鮮度保持に取り組む。</p> <p>(2) 牡蠣養殖の推進 漁協及び漁業者は、牡蠣の鮮度保持のため海水浄化槽装置を活用して高鮮度保持の取組を実施する。生産した牡蠣は忠岡みなどマーケットや牡蠣小屋（冬季限定）で販売する。また、漁協は、町と連携し、養殖した牡蠣のふるさと納税出品について検討する。</p> <p>(3) 資源管理による生産量の拡大 ①漁協、漁業者は大阪府漁業協同組合連合会が実施する海底耕耘に積極的に参加し、漁場環境の改善及び回復を目指す。 ②漁協、漁業者は栽培漁業センターの協力を得て、積極的にキジハタなどの放流事業に取り組む。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>(1) 省エネ機器等の導入と継続活用 漁協、漁業者は補助事業等を活用して省エネ機器を導入し、経費削減を図る。</p> <p>(2) 省燃油活動の推進及び漁具購入費用の削減 漁協、漁業者は漁業経営セーフティーネット構築事業への加入促進や漁具の点検・補修を徹底し、燃油代や漁具の購入費削減に繋げる。</p> <p>(3) 漁具倉庫の改修及び増設 漁協は、漁具倉庫の整備内容について検討する。</p>
<p>漁村の活性化のための取組</p>	<p>(1) 漁業者及び後継者の育成 漁協、漁業者は地元や周辺の小中学校の職業体験等を受け入れるとともに、効率的な漁業経営や資源管理が行えるよう、様々な研修に漁業者が参加できる体制を構築する。</p> <p>(2) 交流人口の拡大 漁協は、忠岡みなどマーケットを毎月第5日曜日に開催するとともに、期間限定（冬季）で牡蠣小屋を営業して主要魚種を販売し、漁村活性化に繋げる。また、町と連携して町の広報媒体に開催情報等を掲載し、集客向上を図る。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>競争力強化型機器等導入緊急対策事業 浜の活力再生・成長促進交付金 水産業成長産業化沿岸地域創出事業 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業 漁業経営セーフティーネット構築事業 大阪府漁業振興基金食育推進事業助成金</p>

2年目（令和8年度） 所得向上率（基準年比）5.16%

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>(1) 魚価向上や高付加価値化 漁業者は、船曳・刺網漁業の漁獲物（しらす、アコ等）について、海水浄化槽装置を活用して高鮮度保持に取り組む。</p> <p>(2) 牡蠣養殖の推進 漁協及び漁業者は、引き続き高鮮度保持の取組を実施し、生産した牡蠣は忠岡みなどマーケットや牡蠣小屋（冬季限定）で販売する。また、1年目で検討、調整した内容をもとに、ふるさと納税への出品を行う。さらに、生産量拡大のため、漁協及び漁業者は筏の増設及び効果的な生産方法について検討する。</p> <p>(3) 資源管理による生産量の拡大 ①漁協、漁業者は大阪府漁業協同組合連合会が実施する海底耕耘に積極的に参加し、漁場の環境改善及び回復を図る。 ②漁協、漁業者は栽培漁業センターの協力を得て、積極的にキジハタなどの放流事業に取り組む。</p>
---------------------	---

漁業コスト削減のための取組	<p>(1) 省エネ機器等の導入と継続活用 漁協、漁業者は補助事業等を活用して省エネ機器を導入し、経費削減を図る。</p> <p>(2) 省燃油活動の推進及び漁具購入費用の削減 漁協、漁業者は漁業経営セーフティーネット構築事業への加入促進や漁具の点検・補修を徹底し、燃油代や漁具の購入費削減に繋げる。</p> <p>(3) 漁具倉庫の改修及び増設 漁協は、漁具倉庫の整備内容について検討する。</p>
漁村の活性化のための取組	<p>(1) 漁業者及び後継者の育成 漁協、漁業者は地元や周辺の小中学校の職業体験等を受け入れるとともに、効率的な漁業経営や資源管理が行えるよう、様々な研修に漁業者が参加できる体制を構築する。</p> <p>(2) 交流人口の拡大 漁協は、引き続き、忠岡みなとマーケットを毎月第5日曜日に開催するとともに、期間限定（冬季）で牡蠣小屋を営業して主要魚種を販売し、漁村活性化に繋げる。また、引き続き町と連携して、町の広報媒体に開催情報等を掲載し、周知を図る。さらなる集客を図るため、忠岡みなとマーケットへの出店店舗について、漁業以外の様々な分野からの出店も行う。</p>
活用する支援措置等	<p>競争力強化型機器等導入緊急対策事業 浜の活力再生・成長促進交付金 水産業成長産業化沿岸地域創出事業 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業 漁業経営セーフティーネット構築事業 大阪府漁業振興基金食育推進事業助成金</p>

3年目（令和9年度） 所得向上率（基準年比） 7.47%

漁業収入向上のための取組	<p>(1) 魚価向上や高付加価値化 漁業者は、船曳・刺網漁業の漁獲物（しらす、アコ等）について、海水浄化槽装置を活用して高鮮度保持に取り組む。</p> <p>(2) 牡蠣養殖の推進 漁協及び漁業者は、引き続き高鮮度保持の取組を実施し、生産した牡蠣は忠岡みなとマーケットや牡蠣小屋（冬季限定）で販売する。ふるさと納税への出品についても継続して実施する。生産量拡大については、2年目で検討した内容をもとに、筏の増設を実施する。</p> <p>(3) 資源管理による生産量の拡大 ①漁協は、大阪府漁業協同組合連合会が実施する海底耕耘に積極的に参加し、漁場の環境改善及び回復を図る。 ②漁協、漁業者は栽培漁業センターの協力を得て、積極的にキジハタなどの放流事業に取り組む。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>(1) 省エネ機器等の導入と継続活用 漁協、漁業者は補助事業等を活用して省エネ機器を導入し、経費削減を図る。</p> <p>(2) 省燃油活動の推進及び漁具購入費用の削減 漁協、漁業者は漁業経営セーフティーネット構築事業への加入促進や漁具の点検・補修を徹底し、燃油代や漁具の購入費削減に繋げる。</p> <p>(3) 漁具倉庫の改修及び増設 漁協は、漁具倉庫の整備内容について検討する。</p>
漁村の活性化のための取組	<p>(1) 漁業者及び後継者の育成 漁協、漁業者は地元や周辺の小中学校の職業体験等を受け入れるとともに、効率的な漁業経営や資源管理が行えるよう、様々な研修に漁業者が参加できる体制を構築する。</p> <p>(2) 交流人口の拡大 漁協は、引き続き、忠岡みなとマーケットを毎月第5日曜日に開催するとともに、期間限定（冬季）で牡蠣小屋を営業して主要魚種を販売し、漁村</p>

	活性化に繋げる。また、引き続き町と連携して、町の広報媒体に開催情報等を掲載し、周知を図る。さらなる集客を図るため、忠岡みなとマーケットへの出店店舗について、漁業以外の様々な分野からの出店も行う。
活用する支援措置等	競争力強化型機器等導入緊急対策事業 浜の活力再生・成長促進交付金 水産業成長産業化沿岸地域創出事業 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業 漁業経営セーフティーネット構築事業 大阪府漁業振興基金食育推進事業助成金

4年目（令和10年度） 所得向上率（基準年比）9.80%

漁業収入向上のための取組	<p>(1) 魚価向上や高付加価値化 漁業者は、船曳・刺網漁業の漁獲物（しらす、アコ等）について、海水浄化槽装置を活用して高鮮度保持に取り組む。</p> <p>(2) 牡蠣養殖の推進 漁協及び漁業者は、引き続き高鮮度保持の取組を実施し、生産した牡蠣は忠岡みなとマーケットや牡蠣小屋（冬季限定）で販売する。ふるさと納税への出品についても継続して実施する。また、筏の増設によって生産量を向上させるとともに、効果的な生産方法の確立を図る。</p> <p>(3) 資源管理による生産量の拡大 ①漁協は、大阪府漁業協同組合連合会が実施する海底耕耘に積極的に参加し、漁場の環境改善及び回復を図る。 ②漁協、漁業者は栽培漁業センターの協力を得て、積極的にキジハタなどの放流事業に取り組む。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>(1) 省エネ機器等の導入と継続活用 漁協、漁業者は補助事業等を活用して省エネ機器を導入し、経費削減を図る。</p> <p>(2) 省燃油活動の推進及び漁具購入費用の削減 漁協、漁業者は漁業経営セーフティーネット構築事業への加入促進や漁具の点検・補修を徹底し、燃油代や漁具の購入費削減に繋げる。</p> <p>(3) 漁具倉庫の改修及び増設 漁協は、漁具倉庫の整備内容について検討する。</p>
漁村の活性化のための取組	<p>(1) 漁業者及び後継者の育成 漁協、漁業者は地元や周辺の小中学校の職業体験等を受け入れるとともに、効率的な漁業経営や資源管理が行えるよう、様々な研修に漁業者が参加できる体制を構築する。</p> <p>(2) 交流人口の拡大 漁協は、引き続き、忠岡みなとマーケットを毎月第5日曜日に開催するとともに、期間限定（冬季）で牡蠣小屋を営業して主要魚種を販売し、漁村活性化に繋げる。また、引き続き町と連携して、町の広報媒体に開催情報等を掲載し、周知を図る。さらなる集客を図るため、忠岡みなとマーケットへの出店店舗について、漁業以外の様々な分野からの出店も行う。</p>
活用する支援措置等	競争力強化型機器等導入緊急対策事業 浜の活力再生・成長促進交付金 水産業成長産業化沿岸地域創出事業 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業 漁業経営セーフティーネット構築事業 大阪府漁業振興基金食育推進事業助成金

5年目（令和11年度） 所得向上率（基準年比）12.16%

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>(1) 魚価向上や高付加価値化 漁業者は、船曳・刺網漁業の漁獲物（しらす、アコ等）について、海水浄化槽装置を活用して高鮮度保持に取り組む。</p> <p>(2) 牡蠣養殖の推進 漁協及び漁業者は、引き続き高鮮度保持の取組を実施し、生産した牡蠣は忠岡みなとマーケットや牡蠣小屋（冬季限定）で販売する。ふるさと納税への出品についても継続して実施するとともに、生産量を向上及び効果的な生産方法の確立を図る。</p> <p>(3) 資源管理による生産量の拡大 ①漁協は、大阪府漁業協同組合連合会が実施する海底耕耘に積極的に参加し、漁場の環境改善及び回復を図る。 ②漁協、漁業者は栽培漁業センターの協力を得て、積極的にキジハタなどの放流事業に取り組む。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>(1) 省エネ機器等の導入と継続活用 漁協、漁業者は補助事業等を活用して省エネ機器を導入し、経費削減を図る。</p> <p>(2) 省燃油活動の推進及び漁具購入費用の削減 漁協、漁業者は漁業経営セーフティーネット構築事業への加入促進や漁具の点検・補修を徹底し、燃油代や漁具の購入費削減に繋げる。</p> <p>(3) 漁具倉庫の改修及び増設 漁協は、漁具倉庫の整備内容について検討する。</p>
<p>漁村の活性化のための取組</p>	<p>(1) 漁業者及び後継者の育成 漁協、漁業者は地元や周辺の小中学校の職業体験等を受け入れるとともに、効率的な漁業経営や資源管理が行えるよう、様々な研修に漁業者が参加できる体制を構築する。</p> <p>(2) 交流人口の拡大 漁協は、引き続き、忠岡みなとマーケットを毎月第5日曜日に開催するとともに、期間限定（冬季）で牡蠣小屋を営業して主要魚種を販売し、漁村活性化に繋げる。また、引き続き町と連携して、町の広報媒体に開催情報等を掲載し、周知を図る。さらなる集客を図るため、忠岡みなとマーケットへの出店店舗について、漁業以外の様々な分野からの出店も行う。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>競争力強化型機器等導入緊急対策事業 浜の活力再生・成長促進交付金 水産業成長産業化沿岸地域創出事業 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業 漁業経営セーフティーネット構築事業 大阪府漁業振興基金食育推進事業助成金</p>

(5) 関係機関との連携

取組の効果が十分に発揮できるように、大阪府、忠岡町、系統団体との連携を密にすることはもとより、他業種の団体（農協、商工会など）とも、連携を図っていく。

(6) 取組の評価・分析の方法・実施体制

浜プランの取組の実施状況及び効果の発現状況を自ら評価し、それを踏まえた取組の改善を検討するため、委員会は毎年度1回理事会において協議する。

4 目標

(1) 所得目標

漁業者の所得の 向上10%以上	基準年	
	目標年	

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

(3) 所得目標以外の成果目標

① 所得向上の取組に係る成果目標

魚価単価の向上 (船曳漁業、刺網漁業)	基準年	令和元年度 ～令和5年度 5中3平均：	1,268	円
	目標年	令和11年度：	1,331	円

② 漁村活性化の取組に係る成果目標

忠岡みなとマーケットの出 店舗数の増加	基準年	令和元年度 ～令和5年度累計：	15	店
	目標年	令和7年度 ～令和11年度累計：	35	店

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

<p>①所得向上の取組に係る成果目標 船曳漁業及び刺網漁業の漁獲物の過去5年間（令和元年度～令和5年度）の平均単価の5中3平均1,268円を基準年とし、高鮮度保持等の取組を実施し最終年度平均単価1,331円（5%向上）を目指す。</p> <p>②漁村活性化の取組に係る成果目標 過去の出店数は、令和元年度～令和3年度：0店（コロナ禍のため自粛）、令和4年度：9店、令和5年度：6店（累計15店）となっている。前期はコロナ禍の影響で忠岡みなとマーケットを開催出来ない年があり、想定以上に出店者数が伸びなかったため、今期は全国豊かな海づくり大会も開催されることから、より積極的なPRを行い、出店者数の拡大を目指す。毎年7店舗の出展を見込み、令和7年度～令和11年度累計で35店舗の出店を目指す。</p>

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）	機器等を導入することにより、漁業支出の低減を図り、漁業所得を確保し燃油高騰に左右されない漁業経営を目指す。
浜の活力再生・成長促進交付金（国）	漁業者が利用する漁具倉庫の改修及び増設を検討し、漁業者の利便性の向上を目指す。漁協販売機能の強化のため新鮮な鮮魚等の提供、商品開発などを目指し、地域に根付いた販路拡大・販売促進を促す。
水産業成長産業化沿岸地域創出事業（国）	リース漁船等を導入することにより、漁業支出の低減を図り、漁業所得を確保し燃油高騰に左右されない漁業経営を目指す。
水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国）	リース漁船を導入することにより、漁業支出の低減を図り、漁業所得を確保し燃油高騰に左右されない漁業経営を目指す。
漁業経営セーフティネット構築事業（国）	燃油高騰による漁業経費の増加に備え、漁業経営に及ぼす影響を緩和する。
大阪府漁業振興基金食育推進事業助成金	忠岡みなとマーケットにおいて、大阪産の試食会等のイベントを実施することにより、地元に関心を持ってもらい身近で販売されているシラスのちりめんや釜揚げ、イカナゴのくぎ煮が地元で獲れている事をPRするとともに、子供を含め、家庭での魚食の普及を推進していく。